



2023年が始まりました。今年の干支(えと)は癸卯(みずのとう)だそうです。「癸」と「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると考えられるそうです。楽しみですね。今年もどうぞよろしくお願ひします。

## サンドイッチの行方

オギジビ文庫の一番高いところに鎮座する『サンドイッチサンドイッチ』。オギジビ文庫の蔵書の中で、最も手に取られている絵本ではないでしょうか。そして間違いなく1番落下している絵本だと思います。大きいし、重いし、高いところにあるし、必然ですね。お子さんたちにたくさん読んでもらい、たくさん落下する『サンドイッチサンドイッチ』。現在棚にあるのは3代目です。では、1代目・2代目はどこにいったのでしょうか。実はある目的のためにずっとST室に保管されていました。

カレーライス、のりまき、ケーキ、おべんとう、小西英子さんが描く食べ物の絵、とても美味しそうですよ。実際に自分で作って描くなど、かなり細かなところまでリアリティを求める作家さんだと、以前絵本マスターに教えてもらった記憶があります。NHKで毎年年末に放送されるドラマのあの漫画家を思い出します。

この美味しそうなサンドイッチをそのまま廃棄してしまうのはもったいないので、製本会社の方には申し訳ないと思いながら、絵本にハサミを入れる背徳感を抱きながらもバラバラに分解し、具材をひとつずつ切り抜きました。それらを厚紙に貼り、ゆで卵の黄身の火の通り具合が絶妙だな、絵はすごくリアルで美味しそうなんだけど、バターとチーズとハムは高級品すぎるな、など勝手なことを考えながら、再度ひとつずつ切り抜きます。そしてできあがったのが、右の写真の『サンドイッチサンドイッチセット』です。絵本を読んで、その後実際にサンドイッチを作っていく。それも巨大な。楽しむこと間違いありません！大きすぎて中身が零れ落ちてしまいそうですね。『サンドイッチサンドイッチセット』、大きすぎるのでクリアファイルにも挟めないし、ちょうどよいサイズの箱も袋もありません。どのように収納しようか、思案中です。



## オギジビの装飾

季節ごとに変わるオギジビ文庫や診察室側の壁の装飾、楽しんでいただけていますか。私たち言語聴覚士、看護師、事務の面々がそれぞれ担当し、“夏といえばハワイの海！”、“ちょっと怖いハリーポッター・ハロウィン”などのテーマを考えて作成しています。

正月・冬バージョンは私たち言語聴覚士が担当しました。年末年始はもちろん「ウサギ」ですね。昨年のももに引き続き、兎だるまを折り紙で作りました。

